

東女医大医教第 16074 号  
平成 28 年 6 月 11 日

関係機関の長 各位

東京女子医科大学  
学長 吉岡 俊正

感染制御科 教授候補者の公募について

謹啓、時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、東京女子医科大学病院（以下本院）では、総合感染症・感染制御部の中に、新たな診療科として感染制御科を開設、ここに医学部教授を配置し、本院における感染制御の向上および感染症診療の醸成を通じて、日本における最高水準の組織体制の構築を目指すこととしました。

つきましては、社会に貢献する女性医人を育成するという本学の建学の精神に則って、感染症、感染制御全般に関する卒前・卒後教育および研究活動を積極的に推進できる方を教授として公募致します。新任教授には、本院の感染制御科診療部長として、原則として入院での感染症の診断・治療および院内の感染症の制御・コントロールを専従で担当していただきます。

貴施設ならびに関連機関に候補者として適任者がおられましたら、ご周知賜りますようお願い申し上げます。応募に際しては、下記に示す所定の書類を添付して下さい。

なお、候補者の方には選考過程で、ご来学の上、面接、講演をお願いする場合があります。ご講演は、審査員全員が視聴できるよう録画させていただきますことご了承下さい（録画した映像は、厳重に管理し、選考終了後当方にて責任を持って処分を致します）。

敬白

記

1. 提出書類（別紙1、「必要な書類」参照）

- |                           |      |
|---------------------------|------|
| ①履歴書                      | 1 部  |
| ②業績目録（様式1）                | 1 部  |
| ③主要論文、別刷                  | 10 編 |
| ④主要論文10 編の各200 字以内の説明     | 1 部  |
| ⑤自己評価書（教育、研究、診療、各800 字以内） | 1 部  |
| ⑥感染制御・感染症診療に関する実績、将来への抱負  | 1 部  |
| ⑦推薦書（5 通まで）               |      |
| ⑧推薦者一覧                    |      |

上記はすべて印刷媒体として提出下さい。③および⑦を除く、上記書類は電子ファイル（ワードあるいはエクセル）として、USB メモリーまたはCD に保存したファイルも同封してください。なお、提出書類および電子ファイルは返却致しませんが、応募情報の漏洩なきよう厳重に管理の上、選考終了後当方にて責任を持って処分を致します。送付に当たっては、書留便などの履歴が残る方法でお願いいたします。

2. 締め切り期日：2016 年8 月26 日（金）必着

3. 提出先：〒162-8666 東京都新宿区河田町8-1 東京女子医科大学 学長宛  
（「感染制御科教授応募書類」と朱書をお願いします。）

4. お問合せ先：東京女子医科大学 学務部医学部学務課 電話 03-3353-8111（内線）22112

本学の大学案内および当該公募のお知らせは、本学ホームページ<http://www.twmu.ac.jp/> のトップページからご覧ください。

必要な書類

(1) 履歴書 (写真貼付)

学歴、職歴、教育歴、研究歴、診療歴、学会活動、社会活動、受賞歴に分けて記載して下さい (相互に重複することは差し支えありません)。各履歴には、下記を明記して下さい。

- 1) 学歴：学位、留学を含む
- 2) 教育歴：卒前教育、卒後教育、研修医、専門医、大学院生などに対する卒後教育および学位論文指導、教育関係の委員などを含む
- 3) 研究歴：研究領域、研究テーマ、研究費取得状況 (研究代表と分担を分けて、タイトル・年度・額を記載)、特許など
- 4) 診療歴：認定医・専門医・指導医 (番号、取得年)、外来診療単位 (午前・午後を各1単位とし、1週間での単位数を記載)、診療関係の院内委員 (保険委員、医療安全管理委員など)
- 5) 学会活動：所属学会名と入会年、学会役員、委員 (雑誌編集委員など)
- 6) 社会活動：患者教育・支援活動、社会における啓発や施策への協力など。
- 7) 受賞歴：学会活動、社会活動、学内活動などにおける受賞。

(2) 業績目録 別紙 (様式1) により、記載して下さい。

(3) 主要論文、別刷 10 編

主要な原著論文10編をあげ、その10編の論文の別刷を各1部ずつ添付して下さい。

(4) 上記 (3) の主要な原著論文10編の論文について、各々の論文の独創的な点について200字以内の説明を記載して下さい。また、2014年、2015年のインパクトファクターを明記して下さい。(様式自由)

(5) 自己評価書 (様式自由)

教育、研究、診療に関する自己評価書を具体的に記載して下さい。(A4版を使用のこと)

- 1) 教育：学部教育としての講義、実習、少人数教育 (チュートリアルなど) の経験および大学院生教育の経験と、その教育に対する考えを記載してください。特に、女子医学部生、女性医師の教育経験とその考えについても記載して下さい。(800字以内) また、卒前、卒後教育における年間の講義・実習の担当表も添付して下さい。
- 2) 研究：主な研究分野とその業績、今後の展望と抱負を記載して下さい。(800字以内)
- 3) 診療：実績、専門領域、特殊技能などを記載して下さい。(800字以内)

(6) 感染制御・感染症診療に関する実績、将来への抱負 (様式自由)

これまでの感染制御・感染症診療に関する実績、将来への抱負について記載して下さい。(A4版2枚以内)

(7) 推薦書 (様式自由)

応募者との関係と交流期間を明示の上、教育、研究、診療に関する能力および人物についての評価を1200字程度 (A4用紙1枚目安) で記載していただけて下さい。

推薦人の依頼先は国内外を問いませんが、応募の締切期日に注意して下さい。推薦人は最

大5名迄にしてください。

推薦書は記載者から直接、学長宛に期間内に御送付下さい。

なお、封書の表書きに朱書きにて「親展」と記載して下さい。

(8) 推薦者一覧（様式自由）

推薦者の氏名・所属・役職を明記した一覧表を応募書類に加えて下さい。

教授公募要件

1. 医師免許を有すること。
2. 感染制御・コントロールに関する実務経験があること。
3. 感染症全般に精通し、感染症に関連する専門的かつ高度な知識と技術、判断力を以って本学に貢献できること。
4. 人格的に優れていること。
5. 日本感染症学会感染症専門医であること。
6. 感染症教育や人材育成に知識や経験があること。
7. 学術論文を出していること。
8. 本学の理念である「至誠と愛」を理解し、それに従って活動できること。